

タイトル	北海学園大学人文学会第9回大会シンポジウム記録 これまでの研究成果と展望
著者	
引用	
発行日	2022-08-31

これまでの研究成果と展望

会長挨拶

講演 1

「借金の帳消しは、なぜ「徳」政なのか」

片岡 耕平(北海学園大学人文学部日本文化学科 准教授)

講演 2

「演技音声の表現にあらわれるジェンダー差のイメージ」

丸島 歩(北海学園大学人文学部日本文化学科 准教授)

全体討論

日時 2021年12月9日(木曜日) 14:20~16:00

会場 北海学園大学 豊平キャンパス 34番教室

主催 北海学園大学人文学会

北海学園大学人文学会 第9回大会

開会の挨拶

○司会 それでは、定刻になりましたので、第9回の人文学会を開催したいと思います。

今回は、昨年度に引き続きまして、新任の先生お二人に御登壇いただき、これまでの研究成果と展望についてお話いただきます。

簡単にスケジュールを御説明します。この後、会長の大森先生から御挨拶をいただいて、2時25分から3時5分まで片岡先生、3時10分から3時50分まで丸島先生、その後、全体討論の時間を設けて、大体16時の終了を予定しております。

では早速、大森先生、お願いいたします。

○大森氏 人文学会会長として、一言御挨拶を申し上げます。

今年もこのような形で研究集会を開催できますことを大変うれしく思っております。準備をしてくださった人文学会委員の先生方、それから、御

発表くださる片岡先生、丸島先生に心より御礼申し上げたいと思います。

去年もほぼ同じことを言ったのですが、残念ながら、学部長としての業務に追われ、非学問的な毎日を過ごしています。昨日は、午前11時から会議で、昼も打ち合わせがあり、午後は1時半から4時半までずっと会議で、終わった後は、先日の特別入試の追試があり、それで1日が終わってしまいました。その間、「明日は新しい研究に



触れることができる」と、この会のことだけを楽しみにしていました。同僚の研究成果を聞かせていただき、刺激を受けて、私たち1人1人が自分の研究を振り返ることで、それをどのように教育に還元するかをあらためて考える機会になればと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

○司会 では、片岡先生からお願いいたします。

お二人の御発表の後に5分程度時間を設けておりますので、全体討論の時間に加え、その時間も質問等に御利用ください。